

テーマ(研究課題): 積極的な外来心臓リハビリテーションの腎機能に及ぼす影響	
研究責任者	心臓リハビリテーション室・理学療法士 板垣 篤典
研究目的	慢性腎臓病患者に対する運動介入は、運動中の腎血流減少による腎機能障害の悪化を懸念し、積極的な推奨がされてきませんでした。一方、慢性腎臓病患者に対する運動介入は運動耐容能や QOL を改善し、血圧を低下させることが報告されていますが、腎機能を改善させうるかについては未だ議論の余地があります。 そこで、外来心臓リハビリテーションと腎機能の関係を検討することがこの研究の目的です。
対象となる患者様	2009 年 4 月から 2015 年 3 月までの期間に当院の外来心臓リハビリテーションに参加し、リハビリ前後で心肺運動負荷試験を施行した正常洞調律の患者様で、腎機能が正常な方、リハビリ参加中に薬剤の変更があった方は除きます。
利用する患者情報	①患者背景(年齢、性別、身長、体重、喫煙歴、投薬内容、合併症、(高血圧、糖尿病、脂質代謝異常症)、NYHA 分類)、②血液所見(BNP、推定糸球体濾過率)、③心エコー図検査結果、④外来リハビリテーション施行情報、⑤心肺運動負荷試験結果
研究期間	2015 年 6 月～2017 年 3 月末
個人情報の取り扱い方法	個人情報保護法を遵守して研究を行います。 研究データは研究責任者のパソコン上で管理しますが、パスワードを掛け、研究責任者以外の閲覧はできないよう厳重に管理します。
個人情報の取り扱いについて異議がある場合の連絡先	(公財)心臓血管研究所付属病院 心臓リハビリテーション室・板垣 篤典 TEL:03-3408-2151(代)